

office-R2 ロープレスキュー講習 とは？

1. ヨーロッパ規格の救助講習？

日本には講習団体が複数ありますが、ヨーロッパの資器材・ロープを使用する講習はほとんどありません。

一方、ヨーロッパ製資器材はアメリカで、アメリカ製資器材はヨーロッパでも販売され、それぞれの救助現場で既に使用され、「〇〇式」と区別することは時代遅れとなっています。

office-R2 ではアメリカ・ヨーロッパの違い・共通点を理解していただき、ヨーロッパ規格とアメリカ規格、双方の資器材を適切に使用し、双方の規格に反しない近代的な技術をご紹介します。



2. 改正された労働安全衛生規則にも適合

平成 28 年 1 月、労働安全衛生規則にロープ高所作業に関する規則が追加され、「玉掛け」「チェーンソー」等と同様、**特別教育の実施が規定**されました。また、平成 31 年より安全帯はフルハーネスが原則となり、これについても特別教育の実施が規定されました。

office-R 2 の講習はこの改正に適合しており、レベル 1～2 講習では「ロープ高所作業」「墜落制止用器具」の特別教育として修了証を発行しています。

※2016 年 200 名、2017 年 199 名、2018 年 202 名に修了証発行

3. 救急・医療との連携

これまでのロープレスキューの講習では、ロープを扱う「搬送」技術に偏りがちで、要救助者への救急活動からは目をそらされてきました。この結果、「実際の現場では手順が狂った、迷った」などの声が聞かれます。

office-R 2 では JPTEC 受講、CSRM や交通救助の講習にも参加、救急医を招いた自主訓練を重ねるなど、ロープと救急医療の調和を研究しています。



4. 少数精鋭の救助隊や、活動人数に限られる現場に

「ヨーロッパ製」資器材はロープアクセス技術の影響を強く受けており、少人数で活動する現場が得意です。中小規模消防や、大人数での活動が困難な山岳事案、狭隘空間での活動でも役立ちます。

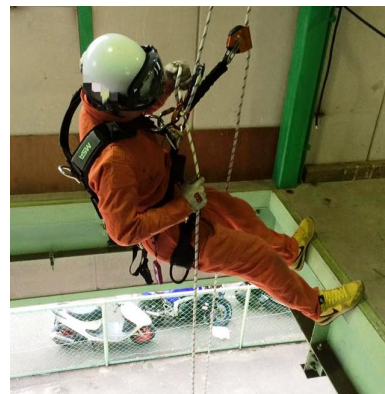
また、ロープレスキューにはアクセス技術が不可欠です。アクセス技術がなければ第一接触、一次確保は不可能です。アメリカでも、アクセス技術やヨーロッパ製資器材は多用されています。office-R 2 は国際的なロープアクセス資格も取得し、救助隊員へのアクセス技術指導も行っています。

office-R2 ロープレスキュー講習一覧

Level.1 ロープレスキューに必要な基礎知識（座学）

費用：レベル2とセット 定員：3～20名

- ・ロープレスキューに取り組むための基本理論 ・安全管理における基本知識 ・事故事例
- ・資器材の基本的な知識・高所作業や安全管理の基礎知識 ・資器材の基礎知識
- ・ロープワーク、ロープの取り扱い ・日本の関連法令



Level.2 ロープレスキューに必要な基礎知識・技能（実技）

費用：¥15,000 定員：3～20名

- ・ライフライン（バックアップ）を併用した降下・登はん
- ・倍力の力学（座学：計算、計測） ・倍力システムの作成手順
- ・1人荷重の降ろし（ロウリング）方法とそのオペレーション

Level.3 発展的なロープレスキュー技術（担架・介添え、2人荷重）

費用：¥10,000 定員：3～12名

- ・基本的な担架の取り扱い ・介添え技術
- ・引き上げ、吊り降ろしの実務的なオペレーション



Level.4 発展的なロープレスキュー技術（水平救出）

費用：¥10,000 定員：3～12名

- ・ロープ展張（座学） ・Tレスキュー、Vレスキュー
- ・ロープブリッジ上での引き上げ（リーピングハイライン）

ワークショップ、勉強会や署内訓練での講習・指導依頼

費用：¥5,000～¥12,000 定員3人～

山岳やアクセスなど、さまざまな場面でのロープレスキューや発展的な内容を訓練します。

詳しくはホームページを参照下さい

ロープレスキュー大会「縄救」

日本初の初級～中級および小規模チームのためのロープレスキュー大会。4名程度のチームが、ブラインド形式でロープ救助を行い、安全性・迅速性・確実性と要救のケアが採点されます。2019年2月、静岡県で第4回大会が開催されました。2020年は2月下旬に兵庫県で企画中です。

2018年実績（レベル1～2講習のみ）

大分県消防学校救助科、北海道日高東部消防本部、岐阜県大垣消防組合、福岡県宗像地区消防本部、福岡遠賀郡消防本部、宮崎市消防局、他40本部 計202名

office-R2 の出張講習について

各講習、出張での開催も可能です。以下の通り、開催に当たっての条件があります。

①出張費用について

交通費

高速道路料金（三木小野 IC～）と燃料代 8 円／km（15km／1L 120 円／1L）

航空券（大阪空港、関西国際空港、神戸空港など）

鉄道利用料（西明石駅から）

フェリー代金

宿泊費

1 泊 10000 円程度

会場利用料

会場を使用するにあたって必要となる費用

②定員について

原則、3 名以上で開催させていただきます。

人数が多くなる場合は講習費用を割り引くことがあります。

③日程について

空き日程はホームページのカレンダーにてご確認ください。

複数日にわたる講習を開催する場合、勤務日にあわせて開催する事も可能です。（例）

途中に「休み」を入れる場合はご相談ください。

（例）

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
Level.1 講習	Level.1 講習	Level.2 講習	Level.2 講習

出張や講習について、資器材購入などのお問い合わせもお気軽にどうぞ

ホームページ



Facebook ページ



代表 大西 LINE



ネットショップ

